

(参考資料2)

# 家庭的保育研修カリキュラム①

- 1 基礎研修(すべての家庭的保育者に対する家庭的保育に必要な基礎的知識・技術等の習得)  
[家庭的保育者の就業前研修]

科目名	区分	時間	内容	基本	専門
家庭的保育の概要	講義	60分	○家庭的保育の歴史的経緯 ○家庭的保育の特徴 ○家庭的保育のリスクを回避するための課題		○
乳幼児の発達と心理	講義	90分	○発達とは ○発達時期の区分と発達 ○ことばとコミュニケーション ○自分と他者 ○手のはたらきと探索 ○移動する力 ○こころと行動の発達を支える家庭的保育者の役割		○
食事と栄養	講義	60分	○離乳の進め方に関する最近の動向 ○栄養バランスを考えた幼児期の食事作りのポイント ○食物アレルギー ○家庭的保育者が押さえる食育のポイント		○
小児保健Ⅰ	講義	60分	○乳幼児の健康観察のポイント ○発育と発達について ○衛生管理・消毒について ○薬の預かりについて		○
小児保健Ⅱ	講義	60分	○子どもに多い症例とその対応 ○子どもに多い病気とその対応 ○事故予防と対応		○
心肺蘇生法	実技	120分			○

## 家庭的保育研修カリキュラム②

科目名	区分	時間	内容	基本	専門
家庭的保育の保育内容	講義・演習	120分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭的保育における保育内容</li> <li>○家庭的保育の1日の流れ</li> <li>○異年齢保育</li> <li>○新しく子どもを受け入れる際の留意点</li> <li>○地域の社会資源の活用</li> <li>○家庭的保育の記録</li> <li>○保育の体制</li> </ul>		○
家庭的保育の環境整備	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育環境を整える前に</li> <li>○家庭的保育に必要な環境とは</li> <li>○環境チェックリスト</li> </ul>		○
家庭的保育の運営と管理	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報提供</li> <li>○受託までの流れ</li> <li>○家庭的保育の運営上必要な記録と報告</li> <li>○個人事業主としての財務管理</li> </ul>		○
安全の確保とリスクマネジメント	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの事故</li> <li>○子どもの事故の予防 保育上の留意点</li> <li>○緊急時の連絡・対策・対応</li> <li>○リスクマネジメントと賠償責任</li> </ul>		○
家庭的保育者の職業倫理と配慮事項	講義・演習	90分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭的保育者の職業倫理</li> <li>○家庭的保育者の自己管理</li> <li>○家庭的保育者自身の家族との関係</li> <li>○地域との関係</li> <li>○保育所や様々な保育者との関係</li> <li>○行政との関係</li> </ul>		○

## 家庭的保育研修カリキュラム③

科目名	区分	時間	内容	基本	専門
保護者への対応	講義・演習	90分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭的保育における保護者との関わりと対応</li> <li>○家庭的保育における保護者への対応の基本</li> <li>○子育て支援における保護者への相談・助言の原則</li> <li>○保護者への対応 ～事例を通して考える～</li> </ul>		○
子ども虐待	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子ども虐待への関心の高まり</li> <li>○子ども虐待とは</li> <li>○子ども虐待の実態</li> <li>○虐待が及ぼす影響</li> <li>○子ども虐待の発見と通告</li> <li>○虐待を受けた子どもに見られる行動特徴</li> <li>○子どもが家で虐待を受けたと思われたならば</li> <li>○家庭的保育で不適切な関わりを防ぐために</li> </ul>	○	
気になる子どもへの対応	講義	90分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○気になる行動</li> <li>○気になる行動をする子どもの行動特徴</li> <li>○気になる行動への対応の考え方</li> <li>○気になる行動の原因とその対応</li> <li>○保育者の役割</li> <li>○遊びー日本に伝承されてきた育児法を用いるー</li> </ul>		○
見学実習オリエンテーション	演習	30分～60分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○見学実習のポイントと配慮</li> <li>○見学を引き受ける際の留意事項</li> </ul>		○
グループ討議	演習	90分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○討議の目的</li> <li>○討議の原則</li> <li>○討議の効果</li> <li>○討議のすすめ方</li> </ul>		○

## 家庭的保育研修カリキュラム④

科目名	区分	時間	内容	基本	専門
見学実習	実習	2日以上	複数の家庭的保育者のもとで家庭的保育を実習 ○保育日誌・家庭連絡帳の作成の仕方 ○実習日誌作成・提出 (実習のうち1日は家庭的保育の1日の流れを体験)		○
実施自治体の制度について(任意)	講義	60分～ 90分	○連携保育所 ○関係機関 ○地域資源 ○巡回指導・監査指導等 ○報告事項などについて		○

## 家庭的保育研修カリキュラム⑤

### 2 認定研修(保育の知識・技術等の習得)

科 目 名	時 間
子ども家庭福祉 (「児童福祉・社会福祉」関連)	4時間
子どもの心身の発達と保育 (「発達心理学」関連)	8時間
子どもの健康管理 (「精神保健」・「小児保健」関連)	8時間
子どもの栄養管理 (「小児栄養」関連)	6時間
子どもの安全と環境 (「小児保健」・「養護原理」関連)	8時間
子どもの保育 (「保育原理」・「教育原理」関連)	6時間
保育実習(Ⅰ) (連携保育所の3歳未満児クラス中心の実習)	48時間
保育実習(Ⅱ) (連携保育所又は認可保育所において実習) [看護師、幼稚園教諭、家庭的保育経験者(1年以上)の者を除く。]	20日

看護師、幼稚園教諭、家庭的保育経験者(1年以上)

時間合計: 88時間

家庭的保育経験のない者及び家庭的保育経験者(1年未満)  
[看護師、幼稚園教諭を除く]

時間合計: 88時間+20日

# 家庭的保育フォローアップ研修・現任研修

## フォローアップ研修

[家庭的保育の経験年数2年未満の者]

目的・内容
<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎研修において修得した内容を実践した上での、疑問・悩みの解消</li> <li>・関係する行政機関との連携関係の構築</li> <li>・家庭的保育者間での連携関係の構築</li> </ul> <p>(内容)</p> <p>家庭的保育者からの相談・質問を中心とした研修</p> <p>[例]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育内容の相談（異年齢保育等）</li> <li>・避難経路の確保、避難訓練等の計画</li> <li>・記録等の書類の作成方法</li> <li>・経理方法等の指導 など</li> </ul>

※経験年数1年未満の者に対しては、少なくとも、2か月に1回以上実施することが望ましい。

## 現任研修

[すべての家庭的保育者]

科目名	時間
最近の児童福祉行政	1時間
家庭的保育の運営・管理	2時間
子ども（3歳未満児）の心身の発達と保育	3時間
子ども（3歳未満児）の健康管理	3時間
子ども（3歳未満児）の栄養管理	3時間
子ども（3歳未満児）の安全と環境	3時間
保護者理解と対応	3時間

# ファミリー・サポート・センター研修カリキュラム

科目名	講師	時間 (目安)
1 保育の心	保育士・保健師	2時間
2 心の発達とその問題	発達心理の専門家	4時間
3 身体の発達と病気	小児科医	2時間
4 小児看護の基礎知識	看護師・保健師	4時間
5 安全・事故	医師・保健師・保育士	2時間
6 子どもの世話	保健師・保育士	2時間
7 子どもの遊び	保育士	2時間
8 子どもの栄養と食生活	栄養・保育学科栄養学の専門家、 管理栄養士等	3時間
9 事業を円滑に進めるために	ファミリー・サポート・センターアドバイザー等	3時間
合 計		24時間